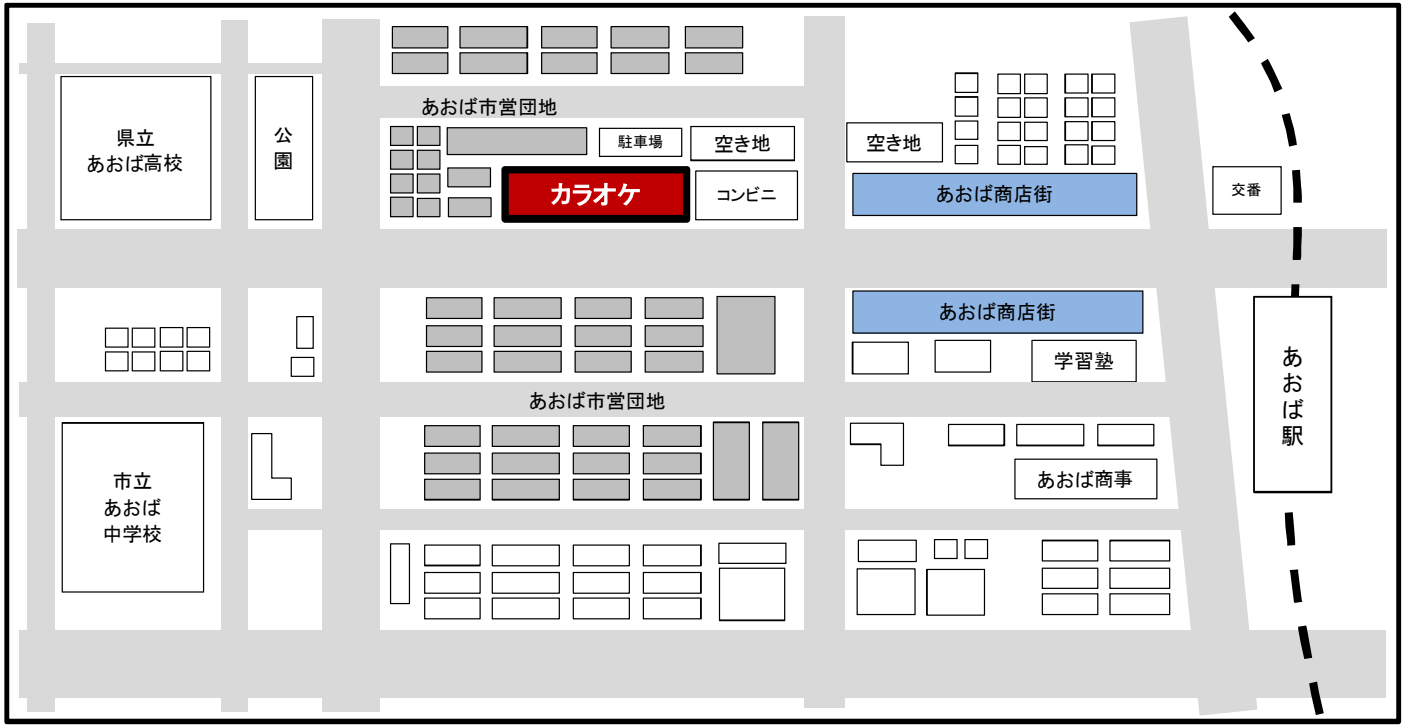
あおば市の住宅街に、ある日、巨大なカラオケボックス（24時間営業）がオープンしました。
周りに娯楽施設が少ないことや、破格の低料金もあって、昼夜問わず、大勢の客が利用しています。
さびれていた商店街もにわかに活気づいています。
ところが、「音がうるさい」などの苦情が周辺の団地の住民などから出るようになりました。
そこで、関係者が集まって、話し合いをすることになりました。

（話し合いの参加者）
①カラオケボックスの経営者（遠藤さん）
②あおば市営団地の住民（野崎さん）
③あおば商店街の商店店主（鈴木さん）
④カラオケボックスを利用している会社員（田部井さん）
⑤カラオケボックスを利用している高校生（柳原さん）
⑥あおば中学校のPTA会長（内海さん）

あおば市

N